

人生の豊かさは、万巻の書を読み、素晴らしい師友に恵まれて、自らの仕事に全力投球し、日本の文化・歴史・伝統・精神・自然を体感するため四季折々に現地を巡ね、感激・感動を深めること等が総合的に実現することではないでしょうか。

還暦を過ぎてからが、本格的な「人生の完成期」と申せましょう。

気の合う仲間と温泉宿で、美味しい料理と地酒を頂きながら人生を語るとき、つくづく日本に生まれたことの有難さを感じます。

この年齢になると、気の合わない人間や嗜好の違う人間には近づかないことです。残念ながら経済的格差がある場合でも、お互いに気を使い楽しさが半減します。

日本の歴史や文化、伝統を学ぶためには、現地を巡ねるのが一番です。

青森の三内丸山遺跡や吉野ケ里遺跡、出雲などは今も当時の波動を感じることができません。中でも三内丸山遺跡は、支那三千年（これもウソです）が、短く感じられるのですから、まさに歴史観が変わります。

屋久島や対馬も、一度は巡ねたい島です。屋久島は、悠久の自然が今も残っています。三千年の屋久杉や沢山の名瀑、そして「首折れサバ」は絶品です。

信州の上高地は、北海道、九州を除けば、本州一番の名所です。学生の頃、濁沢に四週間滞在し、屏風岩・前穂の東壁・北穂の滝谷で岩登りに勤しんでいたことが懐かしく思い出されます。

内村鑑三の「代表的日本人」を一人一人巡ねるのも面白いです。

「奥の細道」あるいは、旧東海道・中仙道・甲州街道を歩くのも趣があります。

幕末から明治に大きな影響を与えた、西郷隆盛・吉田松陰・山田方谷・河井継之助等の足跡を巡ねるのも良いものです。

更に季節を選べば、その場所、その時しか出会えない草花や紅葉が楽しめます。宿泊には、源泉かけ流しの温泉があれば最高です。

私は古稀を迎え、最終到達点も見えてきました。毎月二回を目的に、楽しい仲間と日本中を散策しています。本当に豊かな人生を満喫させてもらっています。有難いことです。

還暦を越えた人は、もう動き出して下さい。若い人たちは、将来の参考にしてください。しばらくは本業一本で頑張ってください。

今月のポイント

すべては自らの仕事に

全力投球してからのこと!!

